

ハリバートン(HAL)

石油の供給不足解消に約10年かかるとの見方。ハリバートン・ラボを立ち上げてクリーンエネルギーを強化

ニューヨーク | 油田サービス・設備 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG HAL:US | REUTERS HAL.N

- 2021/12期4Q(10-12月)は、売上高が前年同期比32.1%増、調整後純利益が同2.0倍。前四半期比も、売上高、調整後純利益ともに2桁増。
- 2022/12通期会社計画は四半期配当を前四半期比で増配。財務に自信を深め、DX投資強化と借入金繰上げ返済をしつつ、FCF増を目指す。
- 同社CEOは石油の供給不足解消に約10年かかるとの見方。また、ハリバートン・ラボを立ち上げてクリーンエネルギーへ取組みを強化。

What is the news?

1/24発表の2021/12期4Q(10-12月)は、売上高が前年同期比32.1%増の42.77億USD、営業利益が前年同期の▲96百万USDから5.50億USDへ黒字転換、税効果などを除いたNon-GAAPの調整後純利益が同2.0倍の3.20億USDだった。北米と中南米の伸長が顕著だった。財務面では、主要2事業部門とも利益率上昇に伴い営業活動からのキャッシュフローと固定資産売却金額の合計額から資本的支出額を除いたフリーキャッシュフロー(FCF)が同13.8%増の4.78億USDと改善した。前四半期比でも、売上高が10.8%増、営業利益が23.3%増、調整後純利益が23.3%増と堅調に推移した。

4Qセグメント別業績は以下の通り。①仕上げ(掘削作業の完了した坑井に生産装置を設置)と生産部門は、売上高が前年同期比30.2%増の23.56億USD、営業利益が同7.8%増の3.47億USD。「仕上げ」用ツールの販売が伸びたほか、北米や中東・アジアで圧力ポンプサービスが伸長。②掘削および油層・ガス層分析部門は、売上高が同34.6%増の19.21億USD、営業利益が同2.3倍の2.69億USD。世界的に掘削サービスが伸びたほか、地下ワイヤーライン販売、プロジェクト管理、ワイヤーラインを用いた活動サービス、ソフトウェア販売増が貢献した。

地域別売上高では、北米が前年同期比44%増の17.83億USD、中南米が同57%増の6.69億USD、欧州・アフリカ・CISが同14%増の7.30億USD、中東・アジアが同18%増の10.95億USDだった。

How do we view this?

2022/12通期会社計画は、四半期配当が前四半期比0.075USD増配の0.12USD。デジタル変革(DX)への投資を強化しつつ、同時に借入金の繰上げ返済を行いながらFCF増を目指すなど、財務に自信を深めている。

同社CEOは昨年12月、化石燃料の開発投資が長年にわたって低迷したことを受けて世界が石油不足の時代に突入しつつあり、供給不足の緩和まで10年前後かかる可能性があるとの見方を示したほか、原油高抑制のためにも再生可能エネルギーへの移行を加速させる必要があると主張。同社は2020年7月よりスタートアップ支援機関の「ハリバートン・ラボ」を立ち上げ、クリーンエネルギー分野の新興企業に協業プラットフォームへの参加機会を提供するなど脱炭素分野への取組みを強化している。足元の原油高、再生可能エネルギー需要増ともに同社への追い風となる。

業績推移

※参考レート 1USD=114.74円

事業年度	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12F	2023/12F
売上高(百万USD)	22,408	14,445	15,295	18,146	20,475
当期利益(百万USD)	-1,131	-2,945	1,457	1,578	2,118
EPS(USD)	-1.29	-3.34	1.63	1.77	2.36
PER(倍)	-	-	19.79	18.23	13.67
BPS(USD)	9.13	5.62	7.49	8.65	10.63
PBR(倍)	3.53	5.74	4.31	3.73	3.03
配当(USD)	0.72	0.32	0.18	0.46	0.50
配当利回り(%)	2.23	0.99	0.56	1.43	1.55

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(USD) **0.46** (予想はBloomberg)
 終値(USD) **32.26** 2022/2/18

会社概要

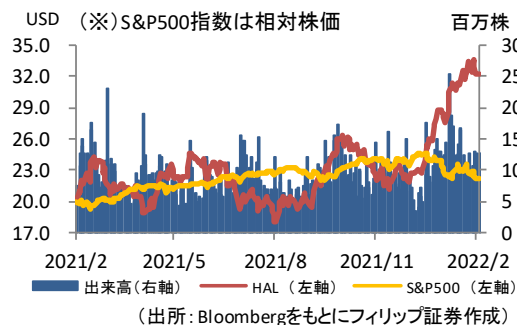
1919年設立の油田サービス大手。シュルンベルジュに次いで世界第2位。テキサス州ヒューストンを拠点とする。世界80か国以上の石油・天然ガス企業を顧客として、探査、試掘やセメント処理、パイプラインサービスなど幅広いサービスを展開し、油田に係る貯留層のライフサイクル全体を通じて顧客企業の価値の最大化を支援。

「仕上げ(掘削作業の完了した坑井に生産装置を設置)と生産」、および「掘削と油層・ガス層分析」の2事業セグメント部門を営む。

同社が拠点とするテキサス州のバーミアン地域は米国で最もシェールガスの生産量が多い地域でもある。

企業データ(2022/2/21)

ベータ値	1.52
時価総額(百万USD)	28,988
企業価値=EV(百万USD)	36,289
3か月平均売買代金(百万USD)	302.0



主要株主(2022/2)

1.VANGUARD GROUP	11.20
2.ブラックロック	7.51
3.CAPITAL GROUP COMPANIES INC	6.75

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。